

第4回例会

一般質問から



公明党
三上 裕久

町内会について

質問 街路灯料金について、町内会の2割負担は、今後も継続されるのか伺う。

答弁 今後も、街路灯のLED化を進めながら電気料金を削減すること、町内会への8割補助を継続していきたいと考えています。

質問 市営住宅の移転などによる町内会世帯の急激な減少で街路灯料金の負担が重くなっているのと聞かすが、そのような町内会への対応策を伺う。

答弁 街路灯は、防犯灯の役割が大きいので急激に世帯が減少している町内会からは、個別に相談を受けながら対応していきたいと考えています。

質問 町内会世帯数の偏在が、今後予想されるが、将来を見据えて統合・再編への環境づくりを進め

るべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 町内会連合会連絡協議会に情報を提供することで、町内会の活性化に努めていただくことを期待しています。

住民自治について

質問 これまでの一律公平な行政サービスの運営だけでは、地域住民のニーズに対応できなくなると考えるが、見解を伺う。

答弁 現在、町内会連合会連絡協議会が町内会や自治会と連携し、協議を図り、住みよいまちづくりのため、さまざまな活動を行っていますので、今後も課題解決のために市も一緒に検討しながら進めていきたいと考えています。

質問 地域のさまざまな団体が一体となって、自主的・自律的・包括的に地域課題を解決する小規模多機能自治について、今からその環境づくりを進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 小規模多機能自治を念頭に置きながら住民主体の組織づくりを進めることで、市民力・地域力を効果的に発揮できるような環境づくりの検討を進めていきます。



会派清新
東元 勝己

地域資源の保護・支援体制について

質問 江部乙地域が日本で最も美しい村連合に加盟し一年が過ぎた。地域資源の「日本一の菜の花畑」と「防風林に囲まれたりんご畑」だが、農家の中でも、特にりんご栽培農家の後継者不足が深刻だ。江部乙の文化であるりんご畑を守るためにどのような支援体制を考えているのか伺う。

答弁 連合に加盟して一年が過ぎ、江部乙協議会の皆さんには加盟の周知や景観維持に関わる活動をしていただいています。市は加盟準備段階から活動費の支援を行い、加盟後も地方創生加速化交付金などを利用し必要な支援を行っています。また、景観維持活動には、市独自の制度で苗木購入の助成を行っているほか、新農業人フェアなどで募集活動を行っています。今後も引き続き江部乙協議会に対し、活動内容に応じた支援を

行っていく、また、りんご畑の景観維持のため、果樹協会とも連携を図っていききたいと考えています。

石碑などの維持管理について

質問 市内には約200基の石碑があり、石川啄木の碑、国木田独歩の碑、そして江部乙高校の前身となる北海道農民福音学校を設立した横山春一氏を顕彰した「欽塚」などがある。これらは、建立後相当な期間が経過し、傷みが目立つが、石碑などの維持管理について考えを伺う。

答弁 市内の石碑は、行政が建立したものや地域の団体などが建立したものがあります。その一つ一つに地域の人の思いや願いが込められています。

「欽塚」は、江部乙町が建立したもので、江部乙の歴史を知る上で大変貴重なものであり、石碑の保存は、地域の文化などを後世に引き継ぐ教育委員会の重要な責務と考えています。多くの石碑のうち行政が管理しなければならぬものについては、石碑の状態を見ながら緊急性を加味し、適切に管理していきたいと考えています。